

「児童自らが読み深める」ために、今後も課題の設定の工夫していく必要がある。

(4)

の工夫

「一人読み」の力を育てる指導の工夫

授業テーマ 第六学年「石うすの歌」

授業実際（省略）

④ 成果と課題

○ 前時に書き込みをしたワークシートを活用して話し合わせることにより、話し合いの視点が明確になつて読みが深まつた。

○ ワークシートを活用しきれない児童も見られたので、個に応じて形式や内容を工夫し、どの児童も自分の考えを持てるようにしていくことが大切である。

(5) 読み取ったことを深めさせる
相互学習の工夫

【その1】

第四学年

「アナトール、工場へ行く」
授業テーマ

学習形態の特性を生かし、読み取つたことを深め合う相互学

習を試みる実践

○ 授業実際（省略）

○ 一人読み→ペア学習→全体での意見交換による深め合い

○ 学習という学習形態を踏むことは、どの子も自分の考えを持つて自信を深め、発表することができるようになり効果があつた。

○ ペア学習はまだ始めたばかりなので、今後も継続し、話し合いのさせ方を工夫していく

○ きたい。相互学習でより考えを深めるために、児童同士の

話し合いの仕方を一層習熟させていく必要がある。

【その2】

○ 第一学年「くじらぐも」
授業のテーマ

○ 試みる実践

○ サイドラインや動作化をとおして、一人一人が文章を正確に読み取るための話し合い学習を

○ 授業実際（省略）

○ サイドラインは、叙述に着目させる上で効果があつた。動作化は、体験を通して話し合うことができ、話し合い活動を活発化させるのに効果があつた。

○ ようやく意見が言えるようになつてきた一年生である。今後は自分の読みと友達の読みを比較して、自分の読みを深められるような相互学習へと高めていきたい。

○ 成果と課題

○ 話し合いカードを用いることによって、まず友達の意見

○ を聞き、次にそれを受けて話し合う相互学習の仕方が分かつてきて、読みを深め広げる

○ ことができるようになった。

○ 今後も話し合いカードを効果的に活用し、話し合いの仕

方を身に付けて自分の読みを深め、読む楽しさを味わうことができるような相互学習の進め方を追究していくたい。

○ 授業実際（省略）

○ 第五学年



動作化をとおして……